

# 前線による今後の大雨の見通し

前線や湿った空気の影響で、13日にかけて大雨となる見込み。これまでの大雨により少しの雨でも災害が発生する可能性があります。土砂災害に警戒し、河川の増水や低い土地の浸水に注意してください。防災気象情報を活用し、<u>早めの</u>防災対応を!

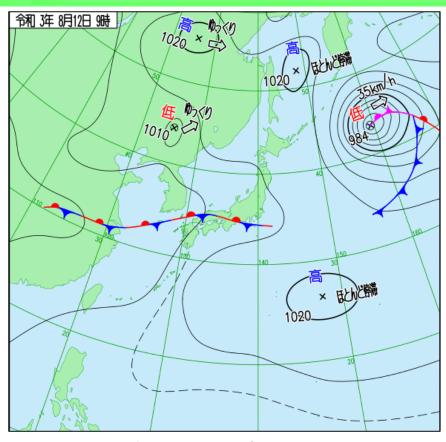
- 青森県では、前線や湿った空気の影響により、12日夜から雨が次第に強まり、13日にかけて、下北と三八上北を中心に大雨となる所がある見込み。その後も、青森県では15日にかけて雨の降りやすい状態が続くでしょう。
- 青森県では、下北と三八上北を中心に、13日は警報級の大雨となる見込みです。 特に、10日までの大雨で被害の出ている風間浦村・むつ市・七戸町では、少しの雨 で災害が発生する可能性があります。
- 市町村が発表する避難に関する情報に留意し、キキクル(危険度分布)等も参考にして、身の安全を確保するために、早めの行動をしてください。

今後の予想を含めた最新の情報は気象台が発表した気象情報をご利用ください。

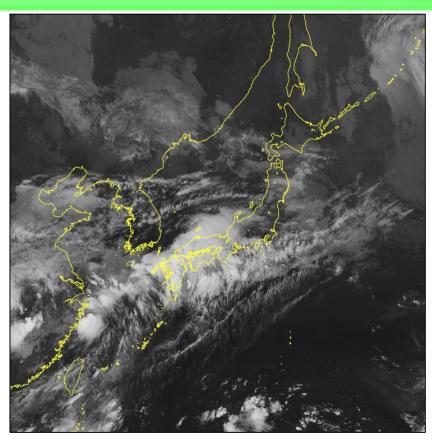
気象庁HP: https://www.jma.go.jp/jma/index.html

雨の様子(雨雲の動き/今後の雨): <a href="https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/">https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/</a> キキクル(土砂災害/浸水害/洪水害): <a href="https://www.jma.go.jp/bosai/risk/">https://www.jma.go.jp/bosai/risk/</a>

# 気象実況



地上天気図(12日9時)

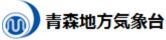


気象衛星ひまわり: 赤外画像 (12日9時)

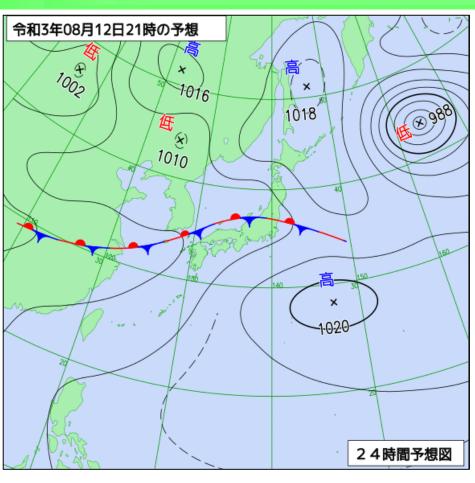
今後の予想を含めた最新の情報は気象台が発表した気象情報をご利用ください。

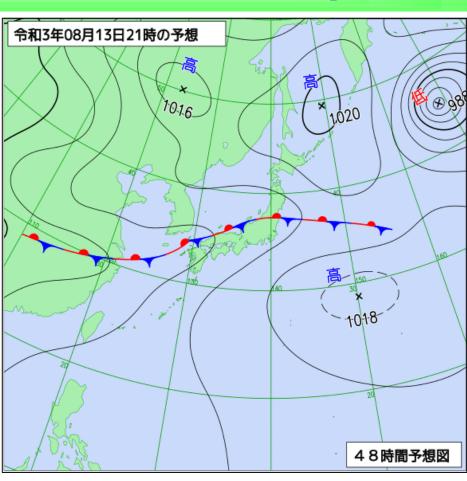
(天気図: <a href="https://www.jma.go.jp/bosai/weather-map/">https://www.jma.go.jp/bosai/weather-map/</a>)

(気象衛星ひまわり: https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#5/34.488/137.021/&elem=vis&contents=himawari)



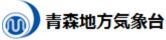
# 予想天気図(12日21時と13日21時)





12日21時の予想天気図前線が東北地方まで北上

13日21時の予想天気図前線が東北地方に停滞



# 警報級・注意報級の現象が予想される期間

			12日			13日							
			15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時
			夕方	夜の	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の	夜遅く
				はじめ頃								はじめ頃	
青森県	大雨	津軽	2	5	5	15	15	15	15	20	20	15	15
	1時間雨量	下北	2	5	10	15	15	20	20	20	20	15	15
	(ミリ)	三八上北	2	5	10	15	15	20	20	20	20	20	20
	洪水	三八上北	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注
日期注文持担(数担何《录处址》上下			_ " _ " _ " _ "			and the second of the second							

早期注意情報(警報級の可能性)大雨

下北·三八上北[中]

下北・三八上北[高]

警報級

注意報級

早期注意情報(警報級の可能性[中])

12日18時から13日18時 13日18時から14日18時 津軽 60ミリ 津軽 50から100ミリ 下北 80ミリ 下北 50から100ミリ 三八上北 100ミリ 三八上北 50から100ミリ

今後の予想を含めた最新の情報は気象台が発表した気象情報をご利用ください。

(気象警報・注意報: https://www.jma.go.jp/bosai/warning/#area\_type=offices&area\_code=020000&lang=ja)

大雨

### (参考) 段階的に発表される防災気象情報の活用例

#### 警戒 レベル 気象庁等の情報 気象状況 市町村の対応 住民が取るべき行動 災害への心構えを高める ı 大雨の ・ 小構えを一段高める 数日~ • 職員の連絡体制を確認 約1日前 可能性) 大雨の 自らの避難行動を確認 2 第1次防災体制 大雨注意報 半日~ (連絡要員を配置) ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを 洪水注意報 数時間前 幸幸のル (危険度の症) 高潮 再確認するとともに、避難情報の把握手段を 再確認するなど。 注意報 大雨警報に 第2次防災体制 氾濫 切り替える 注意 可能性が高い (高齢者等避難の発令を判断できる体 注意情報 (注意報級) 注意報 大雨の 高齢者等避難 危険な場所から高齢者等は避難 3 数時間 高潮警報に 切り替える 大雨警報 氾濫 警戒 第3次防災体制 ~2時間 ・ 高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動 可能性が高い 程度前 警戒情報 を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主 (警報級) (避難指示の発令を判断できる体制) 洪水警報 注意報 的に避難する。 避難指示 危険な場所から全員避難 4 非常に 第4次防災体制 危険 高潮高潮 (災害対策本部設置) 土砂災害 氾濫 危険情報 警戒情報 警報 過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況。 **※2** この段階までに避難を完了しておく。 極めて 台風などにより暴風が予想される場合は、暴風 危険 が吹き始める前に避難を完了しておく。 <警戒レベル4までに必ず避難!> ┛ 数十年に 緊急安全確保 命の危険 直ちに安全確保! 大雨 氾濫 一度の

※1 夜間~翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

発生情報

※必ず発令される情報ではない

すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いま

いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。

<sup>※2「</sup>極めて危険」(濃い紫)が出現するまでに避難を完了しておくことが重要であり、「濃い紫」は大雨特別警報が発表された際の警戒レベル5緊急安全確保の発令対象区域の絞り込みに活用することが考えられます。

# 大雨による災害の留意事項①

### 大雨が降ると・・・

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう

#### 土砂災害が発生!

崖崩れや土石流の発生を確認して から避難することはできない。



平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石 流が発生し、人的被害をもたらした。

#### 中小河川は水位が急激に上昇!

中小河川は、大雨が降ると短時間のうちに急激な水位上昇が起こりやすい。



平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して 氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

#### 大河川は**広範囲・長時間浸水!**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が 決壊したりすると、広範囲が長時間浸水 するなど大きな被害となる。



平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、 キキクルや指定河川洪水予報を活用し、

安全に避難できる早い段階で避難開始を判断することが重要!

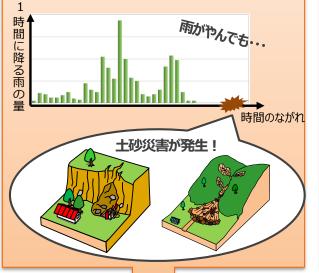


# 大雨による災害の留意事項②

### 大雨がやんでも・・・

#### 土砂災害の危険が継続!

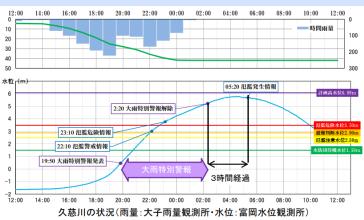
雨が弱まったりやんだりしても、それまでに降った大雨により地盤が緩んだ状態が続き、土砂災害が発生することがある。



#### 油断禁物!大河川は時間差で増水

大河川は上流の雨により下流で遅れて増水する。このため、大雨が止んだ後であっても、 水位が上昇し氾濫することがある。





(出展:「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」資料に加筆)

令和元年東日本台風では、吉田川、阿武隈川、石田川、蛇尾川、都幾川、越辺川、久慈川、千曲川 の7河川で大雨特別警報解除後に氾濫発生情報を発表している。

避難先から家に帰る前に

### 自治体の避難情報や気象情報を確認することが大切!

危険な状況ではなくなったことを確認してから家に帰りましょう。

